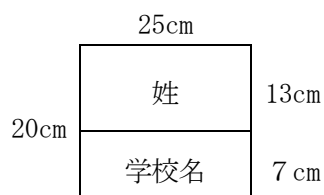


卓球

- 1 期 日 令和元年 7月21日(日) 9:00 開会式
9:30 競技開始, 男女団体戦準々決勝終了まで
22日(月) 9:00 競技開始, 男女団体戦準決勝・決勝,
男子団体戦ランク決定戦・女子団体戦ランク決定戦
11:30 団体戦表彰式
12:00 男子個人戦4回戦・女子個人戦4回戦終了まで
(終了予定18:00)
23日(火) 9:00 競技開始, 男女個人戦決勝終了まで
11:30 閉会式
- 2 会 場 岩沼市総合体育館
- 3 競技規則 令和元年6月1日改定の日本卓球ルールによる。
- 4 大会規則
 - (1) 競技方法 …… トーナメント法で行う。
 - 1) 団体戦
 - ① 選手6～8名, 監督1名(当該校の教職員であること) アドバイザー1名(アドバイザーは校長が認めた成人とする)をもって編成登録する。(但し, 学校規模が4名～5名の場合は選手4～5名でも出場を認める。)
 - ② 4単1複の5試合による3点先取法とするが, 初戦のみ5試合すべてを行う。
 - ③ 単複に重複して出場することはできない。
 - ④ 出場チーム全競技者は同じユニフォームで競技することとする。ただし, 震災の影響によりこれが困難な場合には, 大会当日に当該校顧問が審判長にその旨申し出ることとする。
 - 2) 個人戦
以下の者のうち, 1試合につき1名がアドバイザーとしてベンチ入りできる。
教職員・生徒(登録不要) 校外・外部コーチ(登録が必要, 校長が認めた成人)
 - 3) その他
 - ① 促進ルールも適用する。
 - ② タイムアウト制は団体戦, 個人戦とも準決勝から採用する。
 - ③ ゼッケンは校名・選手名入りのものを必ず使用する。下記の例を参照。(日本卓球協会指定のものが望ましい。) ゼッケンのないものは失格とする。



- ④ コーチは外部コーチ, 校外コーチとも認める。

(2) 申し込み方法

※ 必ず「電子メール」と「原本送付(職印付)」の2つの申し込みを行うこと。

① 電子メール申し込み

宮城県中体連卓球専門部Webサイトから申込用紙の電子データをダウンロードし、必要事項を打ち込んだ後、電子メールに添付して送付する。

② 原本送付

①で作成したデータを打ち出し、職印をもらい、申込先に送付する。(期日厳守・FAX不可)

③ 申込期日

6月18日(火) 必着

④ 申し込み先

- ・ 電子メール： tohokutakkyum@gmail.com
- ・ 原本送付： 〒981-3361 富谷市あけの平3-86
富谷市立富谷第二中学校 山下 哲哉

⑤ 個人情報の取り扱い

申込書に記載する、選手氏名・学校名・学年等の情報は本大会プログラムへ掲載し広く公表し、大会結果集約に利用する。また、組合せをホームページに、試合結果を報道発表並びにホームページに掲載する。記載・掲載に関して各学校で同意を確認し、同意が得られない等、事情がある場合は6月18日(火)正午までに富谷第二中学校山下哲哉(TEL: 022-358-3291)へ連絡を入れること。特に申し出ない場合は上記内容を承諾したものとする。

(3) 使用球

日本卓球協会公認球(ホワイト・プラスチック球) Nittaku 40mm

(4) 審判

- ① 団体戦は相互審判で行う。個人戦は初戦は相互審判、その後は敗者審判とする。ただし団体戦、個人戦ともに準決勝からは専門委員が審判を行う。
- ② 個人戦では審判の関係上、選手に加え審判ができる生徒を引率することとする。(可能な範囲で構わない。)
- ③ 審判は登録選手もしくは他の部員(審判ができる者、登録不要)が行うこと。

(5) 参加料等

- ① 参加料 無料

(6) その他

- ① ゴミは各自持ち帰りを原則とする。
- ② 選手・監督・アドバイザーの変更について
 - ・ 団体戦 21日の8:30まで認める。
 - ・ 個人戦 22日の11:30まで認める。個人戦の選手変更は認めない。
 - ・ 校長が真にやむを得ないと判断した場合は、上記の時間帯以降も監督・アドバイザーの変更を認める。
 - ・ 職印付きの変更届で用紙の提出が無ければ、いかなる変更も認めない。
- ③ 東北大会に出場できるのは男子団体3チーム、女子団体3チーム、男女個人各8名。
- ④ 今大会に関する情報を宮城県中体連卓球専門部Webサイトに随時掲載する。参加校は頻繁にサイトを確認し、必要な情報を把握した上で参加すること。
宮城県中体連卓球専門部Webサイト：<http://www.mctr-tt.com>
- ⑤ 観戦者における競技会場内、または応援席や駐車場など、会場周辺の事故、破損などについては、大会主催者や施設管理者は一切責任を負わない。一切の事故は自己責任であることを理解した上で観戦するものとする。